

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ

(1) 与党陣営の動き

～トランプ政権と拘束者を交換～

..... 1 p

(2) 野党陣営の動き

～市長選前も目立った動きなし～

..... 3 p

(3) 外国の動き

～Monómeros 購入の動き本格化～

..... 3 p

(4) 今週、来週の主なイベント

..... 4 p

(5) 債券の元利不払い状況

..... 5 p

2. 2025年前期

ベネズエラの新車販売台数

..... 6 p

3. Fedecamaras

新代表を決める投票で混乱

..... 8 p

債券指標の動き

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減

..... 11 p

カントリーリスク分析



(写真) ブケレ大統領 X (@nayibbukele)

“エルサルバドル収容所 Cecot からベネ人 252 人解放される”

一週間のまとめ（2025年7月13日～7月19日）

(1) 与党陣営の動き ～トランプ政権と拘束者を交換～

7月18日 マドゥロ政権は、エルサルバドルの犯罪者収容施設 Cecot に収容されていたベネズエラ人 252 人をベネズエラに送還することに成功したとの声明を公表。

「自国民の解放のために、我が国は国家の平和を脅かした罪で司法プロセスを受けていた米国人拘束者を解放するという高い代償を支払わなければならなかった」と説明した。

なお、今回の交渉にあたり、「スペインのロドリゲス・サパテロ元首相が仲裁者として尽力した」と補足し、サパテロ元首相に対して感謝の意を表明している。

POINT

声明では解放した米国人拘束者の人数については言及されていないが、ディオスダード・カベジョ内務司法相は「80人のベネズエラ人も同様に出て行った」「今後も増えるだろう」と言及しており、米国人拘束者だけではなく、ベネズエラ人拘束者も解放されていると思われる。

Cecot の人質解放は、トランプ政権とマドゥロ政権の交渉の重要テーマの1つであり、今回の解放を機に両国の関係に何らかの変化が見られる可能性はありそうだ。

トランプ政権 エルサ

ルバドルの収容施設

Cecot に収容されてい

たベネズエラ人を解

放。



マドゥロ政権 米国人

拘束者を解放。

El Gobierno de la República Bolivariana de Venezuela anuncia con satisfacción que ha logrado la liberación de los 252 ciudadanos venezolanos que permanecían secuestrados y sometidos a desaparición forzada en un campo de concentración, conocido como el CECOT, en la República de El Salvador.

今回の解放を機に両国

の関係に何らかの変化

が見られる可能性も。

Venezuela ha pagado un alto precio para conseguir la libertad de estos connacionales, a través de un canje con las autoridades de los Estados Unidos de América de un grupo de ciudadanos estadounidenses que se encontraban a la orden de la justicia, por su comprobada participación en delitos graves contra la paz, la independencia y la seguridad de la Nación.

El Presidente de la República, Nicolás Maduro Moros, siempre dispuesto a cuidar la vida e integridad de estos venezolanos sometidos a graves violaciones de derechos humanos, no tuvo ninguna duda de realizar este canje y rescatar así a estos migrantes venezolanos secuestrados en El Salvador por culpa de los sectores más extremistas de la derecha venezolana.

（写真）大統領府

POINT

野党 特筆する動きなし。大衆は政権交代のための選挙を望んでおり、現状維持を目的とした選挙は望んでいないか？

コロンビア政府
Monómeros 購入のため米国政府に制裁ライセンス申請を検討。

（２）野党陣営の動き ～市長選前も目立った動きなし～

野党側については目立った動きはない。

7月27日には全国市長・市議会議員選が予定されているが、野党主流派は引き続き選挙ボイコットの方針を維持しており、5月に行われた国会議員選・州知事選と同様に与党陣営が圧勝することはほぼ確実と見られている。

「Datanalisis」のビセンテ・レオン代表は、現在の政治状況について、「個人的には選挙ボイコットは有効な戦略だと考えていない」との見解を示しつつも「大衆は選挙ボイコットを支持している」と指摘。「大衆は、選挙を通じた政権交代を望んでおり、現在の政治闘争を継続するための選挙参加を望んでいない」と指摘している。

一方で、「大衆が選挙ボイコットを支持していることが、急進野党の方針（制裁強化）を支持していることを意味しない」と補足。経済制裁について、明確な拒絶認識があることは世論調査の結果が示していると指摘している（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1244](#)」）

（３）外国の動き ～Monómeros 購入の動き本格化～

以前からコロンビア政府が「Monómeros」の買収を検討していると報じられているが、コロンビア政府による Monómeros 購入が本格的に実現しそうな雰囲気にある。

Monómeros は、「ベネズエラ石油化学公社（Pequiven）」が株式の100%を保有するコロンビアにある肥料会社で、ベネズエラ政府が外国に所有する企業としては CITGO に次いで2番目に大きな企業である。

7月16日 コロンビアの Edwin Palma Egea エネルギ ー相は、Monómeros の買い取りのために Pequiven 役員と協議を行ったと説明。

「Monómeros の買収を完了させるため米国の制裁ライセンス取得も検討している」と補足した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1244](#)」）。

（４）今週、来週の主なイベント

ロイター通信は、「米国のマルコ・ルビオ国務長官が、自国の外交官らに対して、他国の選挙についての言及を控えるよう指示を出していた」と報じた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1244](#)」）。

ベネズエラでは2025年5月に国会議員選・州知事選が行われたが、トランプ政権はベネズエラの選挙についての言及をほとんどしておらず、個人的には違和感を覚えていたが、そのような方針があったということだろう。

国連拠出金の削減、USAID の解体などトランプ政権は他国への介入を停止し、自国最優先の活動に注力しているという方針を反映していると言えそうだ。

表： 7月13日～7月19日に起きた主なイベント

日付			内容
7月	13日	日	
	14日	月	
	15日	火	
	16日	水	
	17日	木	米国務長官 在外外交官に他国選挙へのコメント禁止を指示
	18日	金	トランプ政権・マドゥロ政権 拘束者の交換を実施
			ベネズエラ経団連Fedecamaras 役員メンバーが決定
			ベネズエラ教育施設 夏休み開始（9月14日まで）
	19日	土	

表： 7月20日～7月27日に予定されている主なイベント

日付			内容
7月	20日	日	
	21日	月	
	22日	火	
	23日	水	
	24日	木	全国市長・市議会議員選の選挙キャンペーン終了
	25日	金	
	26日	土	
	27日	日	全国市長・市議会議員選

（５）債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（7月18日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,546.9	4,041.9
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,646.7	4,141.7
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	1,040.4	2,640.4
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,530.0	3,530.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,480.0	3,480.0
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	595.0	1,595.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	720.0	2,220.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	1,125.0	2,625.0
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,764.3	7,964.3
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	306.6	606.6
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	768.5	1,520.5
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,868.8	5,868.8
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,775.0	6,775.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	656.3	1,906.3
グレースピリオド満了未払					31,092	23,114.5	54,206.5
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,160	6,660.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,400	7,400.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,724	4,117.7
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,340	5,340.0
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	3,060	6,060.0
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,290	4,290.0
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,170	2,670.0
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,530	4,530.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,217	2,900.3
グレースピリオド満了未払					27,078	16,890.2	43,968.0
電力債18		18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	414.4	1,064.4
グレースピリオド満了未払					650.0	414.4	1,064.4
合計					58,820	40,419	99,239

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

2. 2025年前期 ベネズエラの新車販売台数

トランプ政権によるベネズエラへの経済制裁強化方針を受けて、経済の先行きに不安感があるものの、現在のところ産油量は増産を続けており、民間セクターも含めベネズエラ経済自体は一定の成長を続けているようだ（前号「[カントリーリスク・レポート No.415](#)」参照）

2025年前期（1～

6月）のベネズエラの

新車販売台数は14,

965台。

消費市場を反映する指標の1つとも言われる新車販売台数について、やや不安感が見られつつも比較的堅調に推移している。

本稿では2025年1～6月のベネズエラの新車販売台数を紹介したい。

なお、下表のデータは「ベネズエラ自動車商工会（CAVENEZ）」のデータではあるが、CAVENEZは新車販売台数を公表しておらず、一部のメディアが記事にて各社販売台数を部分的に報じるのみとなっている。

下表は記事に書かれている各社の新車販売台数をまとめた表である。従って、全てのブランドの新車販売台数が確認できていないわけではない点についてご了承願いたい。

表：ベネズエラの新車販売台数

（単位：台数、％）

ブランド	2024年 1～12月	2025年						合計	割合
		1月	2月	3月	4月	5月	6月		
TOYOTA	7,114	1,183		1,164	1,198	1,280	966	5,791	38.7
JAC Motor	4,814	441	656	1,266	1,098	941	1,091	5,493	36.7
Changan	1,698	276		162	181	182	130	931	6.2
Ford	1,002	44	87	70	62	80	103	617	4.1
Kia	129	144		50	68	75	60	397	2.7
Hyundai	569	110		54	33	62	100	359	2.4
Fiat	843	202		102	102	106	N/D	N/D	-
Foton	678	N/D		67	82	78	N/D	N/D	-
その他	297	N/D		109	78	93	N/D	N/D	-
合計	17,558	3,384		3,044	2,902	2,897	2,738	14,965	100.0

（出所）MOTUM（オリジナルデータはベネズエラ自動車商工会（CAVENEZ））

POINT

**6月の時点で2024
年の年間新車販売台数
(17,558台)の8
5%を達成。**

**25年の年間新車販売
台数が24年を超える
ことは確実。**

**ただし、直近3カ月は
販売台数が漸減傾向に
ある。**

前ページの表の通り、CAVENEZによると、2025年1～6月までのベネズエラの新車販売台数は14,965台。

2024年の年間新車販売台数が17,558台だったことを踏まえると、2025年6月の時点で前年の85%超が売れているということになり、2025年の年間新車販売台数が24年を超えることはほぼ確実と言える。このことからベネズエラの消費市場は比較的堅調であると言えそうだ。

ただし、各月の販売台数の推移をみると懸念点もある。

具体的には25年3月の3,044台をピークに、4月は2,902台、5月は2,897台、6月は2,738台と販売台数が徐々に減っている点である。

トランプ政権がベネズエラに対して明確に制裁強化方針を打ち出したことで、先行きの不安感が高まり、消費市場に影響を与えた印象は否めない。その意味では、25年後期の新車販売台数は25年前期よりも少なくなる可能性は高そうだ。

ブランド毎の販売台数を見ると、販売シェア1位は「TOYOTA」で5,791台。新車販売台数全体の38.7%を占めている。

2位は中国「JAC Motor」の5,493台で、同36.7%。

1位と2位の差は僅かで、この2社のみで全体の75%超を占めている。

3位は中国「Changan」の931台で、同6.2%。2位との差は大きい。

4位は米国「Ford」の617台で、同4.1%。

1～6月の販売台数が判明している会社で言えば、5位は韓国「Kia」の397台（同2.7%）だが、実際は伊「Fiat」が毎月コンスタントに約100台を販売しており、恐らくFiatが5位あるいは4位になるだろう。

ちなみにイランの「Saipa」なども新車を販売しているがCAVENEZに所属していないからか、販売台数は不明。

このことを踏まえると、実際のベネズエラの新車販売台数は14,965台よりも多いと言える。

POINT

Fedecamaras 総会開催。2025～27年の新役員メンバーが決定。

代表を決める投票で集計ミスが起き、投票は混乱。

3. Fedecamaras 新代表を決める投票で混乱

7月17日～18日にかけて第81回「ベネズエラ経団連（Fedecamaras）」の総会が開催された。Fedecamaras はベネズエラで最も規模の大きな経済団体で、日本で言う経団連のような立ち位置にある。

今回の総会は、2025～27年のFedecamaras 役員メンバー（代表、第1副代表、第2副代表、会計担当）を決定する総会であり、誰が経済界の舵取り役を務めるかに注目が集まった。

通常であれば、代表の決定は出来レース的な雰囲気があり、事前に代表が決まっていることが多かったが、今回は通常の代表選出と異なり、2人の候補者（Luigi Pisella 元 Conindustria 代表と Felipe Capozzolo 元 Consecomercio 代表）が代表を争う状態になっており、どちらが当選するかを事前に予見することが出来なかった。

なお、Conindustria は製造業により構成される経済団体で、Consecomercio は商業・サービス業により構成される経済団体である。

つまり、今回の代表選は「製造業団体」vs「商業・サービス業団体」の投票のような意味合いを持っていた。

Fedecamaras の代表メンバーは、加盟企業の投票で決定する。

投票前に候補者は20分ほど演説を行い、演説後に加盟企業が投票を行った。

最初の発表では Felipe Capozzolo 候補が87票、Luigi Pisella 候補が86票で1票の差で Capozzolo 候補の当選が発表された。

しかし、実際のところ投票数は合計171票でなければならず、173票だと2票余分に票が入っていることになる。

そのため、Luigi Pisella 候補の支持グループが選挙運営側に説明を要求。Fedecamaras の代表選挙は、例年にないほど緊迫した雰囲気になった。

POINT

最終的に完全解決することなく商業・サービス業系の経済団体である Consecomercio の Felipe Capozzolo 候補の当選が決定。

Luigi Pisella 候補を支持するグループは最後まで結果に対して抗議。

その後、選挙運営側は「代表の投票結果のみ再集計を実施する」と発表。そして3回の集計を行ったが、3回とも173票との結果が出て、4回目の集計で Felipe Capozzolo 候補が87票、Luigi Pisella 候補が85票で2票の差となった。

それでも合計で172票なので、171票にはならないが、「仮に Capozzolo 候補への票が1票減っても結果は変わらない」との認識になったためか、（詳細は不明だが）選挙運営側は Capozzolo 候補の当選を決定した。

この結果を受けて、Capozzolo 候補を支持するグループは勝利を祝福し、Pisella 候補を支持するグループは抗議を行うという混沌とした状況になり、総会は終了した。

Capozzolo 新代表の略歴は以下の通り。

- ・シモン・ボリバル大学の機械工学部卒。
- ・アンドレスベジョ・カトリック大学のプロジェクトマネジメント専攻。
- ・2001年に機械技師として「Recomaq SRL」に勤務。
- ・2002年に自身の会社「OTEC CA」を設立。
- ・2008年から Consecomercio で活動を開始。
- ・2015～17年に「Hotel Canadifa」社長。
- ・2017～18年に Consecomercio の会計担当、第2副代表に就任。
- ・2019～21年に Consecomercio 代表に就任。
- ・2021～23年に Fedecamaras の第2副代表に就任。
- ・2023～25年まで Fedecamaras の第1副代表。



（写真）Bitacora Economica ” Felipe Capozzolo 新 Fedecamaras 代表”

POINT

**Capozzolo 新代表以外
の役員メンバーは
Pisella 候補のグルー
プ。**

**Pisella 候補敗北の要
因は Conindustria 代
表の際にマドゥロ政権
と接近しすぎたためと
の意見も。**

**人事・方針面で今後の
Fedecamaras は不安
定な出発となる。**

なお、Fedecamaras の新役員メンバーは以下の通り。

- ・ Felipe Capozzolo 代表（下写真の右から2番目の男性）
- ・ Tiziana Polesel 第1副代表（下写真の左から2番目の女性）
- ・ Rafael Trejo 第2副代表（下写真の一番右の男性）
- ・ Celso Fantinel 会計担当（下写真の一番左の男性）

実は、Felipe Capozzolo 代表以外の3役員は、Pisella 候補が推薦した人物であり、Capozzolo 新代表は Pisella 候補グループの役員メンバーと Fedecamaras を運営することになる。

事前に報じられていた話では、Capozzolo 氏と Pisella 氏の基本方針には大きな違いはない。両者ともにマドゥロ政権と協調して経済回復に取り組む必要性について明言しており、マドゥロ政権との対話路線は変わらない。

ただし、Capozzolo 氏が Consecomercio の代表を務めていた当時、Capozzolo 氏はマドゥロ政権との対立路線への支持を表明しており、Capozzolo 氏の本音としてはマドゥロ政権との対立路線があると思われる。

実際のところ、Pisella 氏が当選できなかった最大の要因は、「Pisella 氏が Conindustria の代表を務めていた時にマドゥロ政権と緊密な関係を築いたこと」とも指摘されており、Fedecamaras は不安定な状況にあると言えそうだ。



（写真）Bitacora Economica

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減（7月18日時点）

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	14.90	16.10	15.50	△ 11.68
2018-II	13.625	2018/8/15	19.05	20.40	19.73	△ 0.13
2018	7	2018/12/1	13.60	14.85	14.23	0.18
2019	7.75	2019/10/13	14.60	15.95	15.28	0.00
2020	6	2020/12/9	13.70	14.80	14.25	2.52
2022	12.75	2022/8/23	17.85	19.25	18.55	0.82
2023	9	2023/7/5	16.40	17.75	17.08	1.64
2024	8.25	2024/10/13	16.45	17.75	17.10	1.94
2025	7.65	2025/4/21	16.45	17.80	17.13	1.63
2026	11.75	2026/10/21	20.10	21.15	20.63	2.36
2027	9.25	2027/9/15	19.90	20.95	20.43	1.62
2028	9.25	2028/5/7	18.05	18.75	18.40	2.22
2031	11.95	2031/8/5	18.85	19.60	19.23	1.72
2034	9.375	2034/1/13	22.85	23.85	23.35	1.63
2038	7	2038/3/31	17.65	18.55	18.10	2.84
電力債 2018	8.5	2018/4/10	5.80	7.30	6.55	△ 0.76

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	89.00	91.85	90.43	△ 1.12
2021	9	2021/11/17	12.80	14.05	13.43	2.29
P 2022	12.75	2022/2/17	14.50	15.85	15.18	1.00
D 2022(N)	6	2022/10/28	10.75	12.15	11.45	0.88
V 2024	6	2024/5/16	12.55	13.70	13.13	2.34
S 2026	6	2026/11/15	12.35	13.70	13.03	2.56
A 2027	5.375	2027/4/12	12.35	13.65	13.00	1.17
2035	9.75	2035/5/17	14.40	15.65	15.03	2.21
2037	5.5	2037/4/12	12.25	13.65	12.95	1.77

	百万ドル	先週比
外貨準備	11,375	△ 0.28

為替レート	ボリ／ドル	先週比
両替テーブル	119.14	3.31
並行レート(Binance)	151.79	1.42

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、
Exchange Monitor

解説

「1.（1）与党陣営の動き」
で紹介した通り、マドゥロ政
権とトランプ政権の拘束者交
換が実現した。

両政府の交渉合意について、
債券市場は好意的に反応。

7月18日のベネズエラ債は
全体的にプラスに推移した。

ただし、ベネズエラ国債18
-Iのみ、比較的規模の大きな
売りがあったためか先週比1
1.68%減と大きく価格を
落とした。

為替レートは、両替テーブ
ル、並行レートともにボリバ
ル安が続いている。

本レポートではなんとか並行
レートを更新できているが、
マドゥロ政権の取り締まり強
化を受けて、多くの並行レー
ト公表サイトが並行レートの
公表を停止しており、直近の
並行レートを確認することは
困難になっている。

以上